

学校と地域が連携・協働し、未来を担う子どもたちを育てよう

～ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動 ～

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える問題が複雑化・多様化する中で、子どもたちの課題を解決したり、よりよい成長を支えたりするために、学校・家庭・地域が「目標やめざす子どもの姿」を共有し、連携・協働していく取組が求められるようになっていきます。

子どもたちは、これからの未来を担う存在であり、地域の中で成長し、地域の担い手として活躍する存在でもあります。これからの学校は、地域の「人・もの・こと」を活かしつつ、子どもたちの学びの質を高め、「地域とともにある学校づくり」を推進していくことが大切になってきます。

境港市では市内すべての中学校区でコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)がスタートしています。

学校運営協議会は、地域・保護者の皆さんと学校が目標を共有し、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みです。この仕組みを持つ学校を「コミュニティ・スクール」と言います。



地域学校協働本部は、既存の地域と学校の連携体制をもとにして、「地域学校コーディネーター」が中心となって緩やかなネットワークを形成し、より多くの幅広い地域の皆さんや団体等の参画によって地域学校協働活動を推進する体制です。

学校運営協議会

地域学校協働活動

地域学校協働本部

地域学校コーディネーター



コミュニティ・スクール



地 域

◆学校運営協議会は学校とどのようなかわりをもつのですか？

- 学校運営協議会は学校と対等の立場で、子どもたちをめぐる課題等の解決に向けて熟議を行い、できることを模索します。
- 学校から様々な情報の提供を受け、学校長が示すビジョンや方針に意見を反映させ、その実現に役割と責任を持ちます。

◆地域や保護者の皆さんが当事者意識をもって学校の教育活動にかかわることで、どのようなよさがありますか？

- 地域・保護者の皆さんと学校が顔の見える関係となり、学校の理解者、協力者が増えます。
- 地域の皆さんの交流が活発になり、皆さんのつながりがより広く深くなります。
- 地域・保護者の皆さんの支援や協力により、子どもたちの学びが充実します。

◆地域学校協働活動とはどのような活動のことをいうのでしょうか？

●幅広い地域住民等の参画により、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動をさします。

これまで学校支援活動として地域のみなさんが取り組んでおられる活動(読み聞かせ・見守り活動・環境整備等)も含まれます。また、地域の伝統行事や地域活性化のための祭りや防災訓練の活動等、子どもたちが地域の人たちとのパートナーとして、地域づくりや地域の活性化のための活動をさします。



地域学校協働活動の主な例



家庭科(魚の三枚おろし)での学習支援



総合的な学習 伯州綿について体験学習



地域の方と花の植栽作業



キャリア教育(大学生の先輩に学ぶ)



公民館での夏休み子ども講座



子どもたちの見守り活動



地域の方を講師に津波防災についての学習